

きらきらつうしん

ねん なつごう
2015年 夏号 No.24

なつ たいよう げんき
夏の太陽は元気いっぱい!

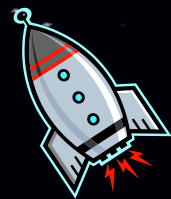
あおぞら した げんき あそ
みんなも青空の下で元気いっぱい遊ぼう!

なつやす
夏休みはたのしいことがたくさんまってるよ!



『ろけとこざる』

ぶん え みつよし なつや やく
H. A. レイ / 文・絵 光吉 夏弥 / 訳
いわなみしょうてん ねん
岩波書店 1998年 (E アオ レ)



うちゅう
宇宙へ

ひろい ひろい



『はじめてのうちゅうえほん』

てづか あけみ / さく・え

パイ インターナショナル ねん
2009年 (K 440 テ)



ケロケロ ケコケコ かえる

ぴょんと高くとんでみたり、すいすい自由におよいでみたり。
あつい夏でも、かえるは元気いっぱいです！



『カルちゃんエルくんあついあつい』

いわむら かずお／作

ひさかたチャイルド 1999年 (E アカ イ)

あつい夏の日、カルちゃんとエルくんは、すずしい場所をさがしていました。とまとやかぼちゃ、きゅうり…いろんなやさいのはたけにいくうちに、夕立がやってきました。



『ずら〜りカエルならべてみると…』

高岡 昌江／ぶん 松橋 利光／しゃしん

アリス館 2002年 (K 487 タ)

日本にいるカエル43種類をずらりと紹介！色や大きさ、まえ足、うしろ足、うしろ姿。みんなにているようで、少しずつちがうんです。これを読めばあなたもカエルはかせになれるかも？！



『ゆかいなかえる』

ジュリエット・キープス／ぶん・え いしい ももこ／やく

福音館書店 1974年 (E アオ キ)

4ひきのかえるは今日も楽しくかたつむりのかくしっこや、くるくるまわって遊んでいます。かえるをねらう、さぎやかめがやってきても、すばやくかくれれば大丈夫！



おばけ



みんながねむる真夜中に、おばけたちはあらわれます。

たの
こわいおばけ、楽しいおばけ、やさしいおばけだっているんですよ。



『ねないこだれだ』

せな けいこ／さく・え

ふくいんかんしょてん ねん
福音館書店 1978年 (E モモ セ)

よる
夜になっても、まだまだ遊びたくてねないお友だちはいませんか？

はやくねないと、こわーいおばけがやってきて・・・。

ねん しゅっぱん なが あい つづ えほん
1969年の出版から長く愛され続けてきた絵本です。



『おばけのジョージ』

ロバート・ブライト／さく・え みつよし なつや 光吉 夏弥／やく

ふくいんかんしょてん ねん
福音館書店 1978年 (E アオ ブ)

いへ す ちい まいぼん おな
ホイッティカーさんの家に住む、小さなおばけジョージは、毎晩、同
じ時間にかいだんを“みしり”、ドアを“ぎー”といわせます。ところ
がある日、かいだんやドアを治してしまったら・・・。



『おばけだぞおー!』

ジャック・デュケノワ／さく おおさわ あきら／やく

しゅっぱん ねん
ほるぷ出版 2001年 (E アオ デ)

まいぼん よる じ はこ なか
おばけのパコームは、毎晩、夜の12時になると箱の中から、こんばんは。
パコームはかべをするととお
通れるし、きえちゃうこともできるんです。
なんだかおばけって楽しそう！

えほん さっか 絵本作家さん こんにちは！



国内・国外を問わず、絵本作家さんを作品とともに紹介していきます。
第5回目は、やさしくあたたかい語り口で、幅広い作品を生み出した松谷みよ子さんです。



『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文 瀬川 康男／え
童心社 1981年 (E モモ セ)

1926年東京都生まれ。児童文学作家、坪田譲治氏に師事。民話に関心を持ち、1960年に信州に伝わる小泉子太郎伝説などをもとにして再創造した『龍の子太郎』を出版。国際アンデルセン賞優良賞を受賞。『いないいないばあ』は、いろいろな動物がいないいないばあと出てきて、赤ちゃんを楽しませてくれ、読み聞かせがはじめての方におすすめです。他にも、戦争やいじめといった社会派の問題を扱った物語など、精力的に作品を発表されていましたが、2015年2月にお亡くなりになりました。

えほんの会のおしらせ

日にち：毎月第4木曜日

時間：10:00～10:30

場所：キッズステーション

6月25日 7月23日 8月27日

行事により変更する場合があります。

2, 3歳から5歳までのお子さま

対象の読み聞かせの会です



市川市市川駅南口図書館 指定管理者 (株)ヴィアックス
〒272-0033 市川市市川南1丁目10番1号
I-Linkタウンいちかわザ・タワーズウエスト3階 047-325-6241